

協働パイロット事業 (H28) 企画提案書

団体名：特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

1 事業の名称

お手玉がつなく、わらべうたが育む、地域の笑顔 (^_^)ニコ♪

2 事業の概要 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえて記載してください)

今般の少子高齢化を基調とした社会潮流の中、静岡市においては、自治会・町内会の加入率が下がり続ける傾向であり、「地域コミュニティのキツナを強め直す」ことが、私たち市民活動団体が取り組むべき重要な社会的課題の一つとなっています。

私たちの団体のミッションは、「医療・介護福祉・教育に関する啓発事業等を通じ、地域・社会の人々の文化の発展に寄与すること」であり、その具体的な取り組みとして「子守唄」や「わらべうた」を活用した子ども達への情操教育を行ってきました。

特に幼児期における「わらべうた」や「読み聞かせ」の教育効果の高さは、以前から多くの研究者が唱えているところであります。

今回は、「お手玉」や「わらべうた」を活用し、障害者の就労・作業支援、地域のお年寄りの生きがい作りと、中学生が普段の生活とは違った視点で地域を見つめることで、地域コミュニティのキツナの強化に発展させていきたと考えています。

事業スキームとしては、以下のとおりとなります。

- (1) 地域のお年寄りがお手玉を作る
- (2) 作業工程の一部を障害者が担うことで、障害者の就労や社会貢献を支援する
- (3) 中学生が海外研修で「お手玉」や「わらべうた」などの日本の地域文化を紹介する
- (4) 中学生が海外研修成果を地域のお年寄りに報告する
- (5) お年寄りがお手玉の作ることの意味・目的を再認識する
- (6) さらに交流館での活動を通じ、駒越地区の他の子ども達との交流事業につなげていく
- (7) 「お手玉」や「わらべうた」を用いて、地域コミュニティを強めていく

なお、本事業は、障害者の就労支援を目指すことから、障害者福祉課様との協働を、お年寄りの生きがい作りを基調とした事業展開を想定しているため、高齢者福祉課様との協働事業の実施を希望しており、対象地域としては、当法人が日頃から活動拠点としている清水区の駒越地区を中心に、すでに活動の趣旨に御賛同をいただいている駒越生涯学習センター・駒越地区社会福祉協議会・福祉施設等との協働、また、同様にすでに活動の趣旨に御賛同をいただいている静岡北中学校とも協働した事業実施を予定しています。

3 協働して事業を行う際、貴団体の担う役割と静岡市に担って欲しい役割

(1) 当法人の役割

- ・お手玉の材料を調達、お手玉作成者等に事業内容を説明し作成して頂く。
- ・袋に障がい者にアイロンシールを貼って頂く。
- ・子ども達に制作工程等の説明をし、CD・テキストを使って歌詞や唄を学び唄う。
- ・作成したお手玉を中学生に贈呈し、一緒に遊びながら遊び方の説明をする。
- ・学校、各関係団体から報告を受け、実施報告書を作成する。

(2) 静岡市に担って欲しい役割

①障害者福祉課

- ・「うしおワーク」における「就労継続支援B型」での作業実施に関する調整

②高齢者福祉課

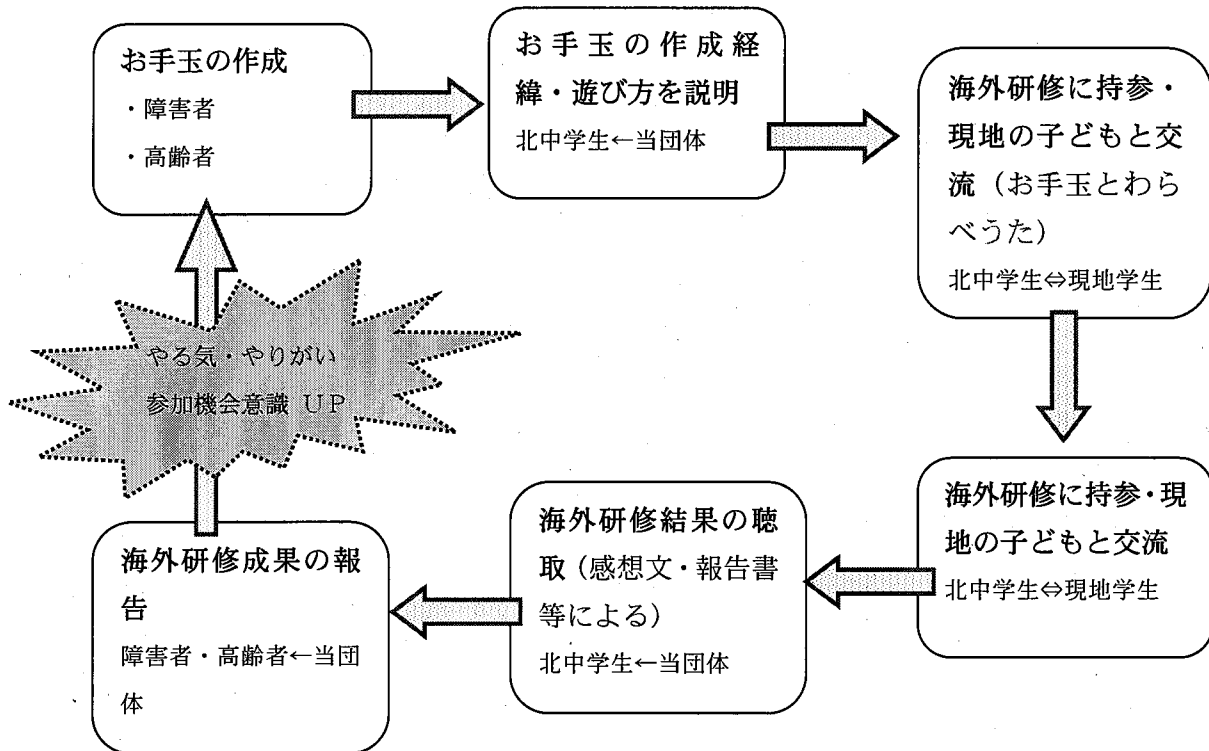
- ・静岡市社会福祉協議会が実施する「S型デイサービス」での作業実施に関する調整

③両課共通

- ・協働事業実施に関するアドバイス（作業実施に関わる基準作り等）
- ・広報実施に関する支援（市ホームページへの掲載、関係施設へのちらしの設置等）

4 事業計画・実施スケジュール

(1) 事業計画



(2) 実施スケジュール

- 7月上旬 お手玉の材料を調達
- 7月中旬 お手玉作成者等に事業内容を説明し作成し、障がい者にアイロンシールを貼って頂く。
- 9月上旬 子ども達に制作工程等の説明をし、CD・テキストを使って歌詞や唄を学び唄う。作成したお手玉を子供たちに贈呈し、一緒に遊びながら遊び方の説明をする。
- 10月 静岡北中学校 ホームステイ 約30名
- 11月 静岡北中学校 グラム研修旅行 約70名
- 12月 静岡北中学校への交流結果の聴取 → 報告書作成
- 2月末 障害者・高齢者への成果報告

5 実施体制及び主要スタッフの経歴

(1) 作品の作成

- ・駒越地区社会福祉協議会
- ・静岡市しみず社会福祉事業団 静岡市清水うしおワーク就労型B
- ・社会福祉法人葵会
- ・TOKAI ライフプラス株式会社
- ・ほっとな居場所 茶の実・輪笑

(2) 主要体制

- ・当 NPO 理事、会員、
- ・子守唄指導員・普及員養成講座受講生、
- ・静岡県生涯学習インストラクターの会

6 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績、2年間継続することの効果など）

●専門性/独自性

子守唄指導員・普及員養成講座を続け5年目になります。

子守唄を中心に活動を展開している保育士、元保育士等が多く所属しているため、実践に強い団体であると自負しています。

なお、お手玉の材料には、静岡県産材料を多く使用します。浜松産の生地やペレットを使用するなど、なるべく地産地消となるものを採用します。

●先駆性

お年寄りや子ども達との交流事業は各所で行われていますが、社会的接点の少ない参加者相互の閉じた交流にとどまることなく、その先に繋がっていきます。お年寄りや障がい者の皆様に国際交流の一翼を担っていただき、生きがいを感じてもらいたい、子どもたちにもお年寄りや障がい者も社会の一員として活動しているとの認識を持ってもらいたいと考えています。

●実績

①子守唄指導員及び普及員養成講座

過去11回 受講者180名超

常葉学園短期大学、静岡福祉医療専門学校、静岡英和学院大学、児童養護施設静岡ホーム、静岡教育会館、静岡県男女参画センターあざれあ、静岡市民文化センター等で開催。

同フォローアップ研修 過去2回実施。（静岡英和学院大学、日本子守唄協会と共催）

②出前講座

静岡市地域子育て支援センター、就学継続支援B型事業所みどりの丘えまつ、清水壽大学 デイサービスセンターいきがいの里、静岡市駿河区民生委員協議会等を対象。

③音楽療法ワークショップ 家族介護教室の開催

藤枝市地域包括支援センター開寿園、認知症の人と家族の会ほっと会を対象。

④保育士のためのフォローアップ研修講座の開催

双葉幼稚園、菊川保育園を対象。

⑤乳児院みどり園との愛着形成支援事業の共催

⑥CD作成：第1集「ふじのくにハーモニーメンバー」、第2集「島田少年少女合唱団」

●2年間継続することの効果

障がい者・高齢者が「お手玉」を作ること、中学生が交流を通し気付きを得ること、その気付きを障がい者・高齢者にフィードバックし、生きがいに変えていくことといった一連のサイクルは、今年度の単発の事業としても実施可能です。

しかしながら、生きがいに気付くことのできた障がい者や高齢者の活動を支援し、中学生の気付きを深めるといった、この一連のサイクルを磨き上げ、事業所管課様との本格的な協働事業につなげていくためには、2年間という時間が必要であると考えています。（先ずは「やってみる」、そして「深める」ことが重要であると考えています。）

協働パイロット事業 (H28) 見積書

団体名：特定非営利活動法人ふじのくにハーモニー

お手玉がつなく、わらべうたが育む、地域の笑顔 (^_^)ニコ♪

| 項目 | 金額 | 説明 |
|--------------|---------|---|
| お手玉 | 40,000 | @80×5個×100セット |
| 作業代 | | |
| 材料代 | 30,832 | ペレット@1,208×4、紐@1,500×3、布@20,000×1、糸1,500 |
| 袋作成 | 40,000 | @400×100個 |
| 旅費交通費 | 46,000 | 2回×23名×@1,000 |
| シール | 8,000 | @800×10枚 |
| 作成費 | 5,000 | @50×100個 |
| 作業代 | 2,500 | @25×100個 |
| 通信・運搬費 | 34,000 | 概算 |
| 会議費 | 20,000 | 2回×10名×1,000円学校・教職員・理事 |
| | 14,000 | 2回×7名×1,000円駒越地区メンバー |
| | 12,000 | 2回×6名×1,000円ふじのくにメンバー |
| 講師報酬 | 20,000 | @10,000×2 |
| CD、テキスト | 86,000 | 学校用テキスト@200×100、CDコピー@60×100枚、演奏者30,000、制作20,000、表紙10,000 |
| 事務費 | 71,000 | |
| 小計 A | 429,332 | |
| 消費税 B=A×0.08 | 34,347 | |
| 合計 A+B | 463,679 | |

◎実費弁償契約の希望の有無 有 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

| 収入見込み額 | 金 額 | 主な用途 |
|--------|-----|------|
| | | |